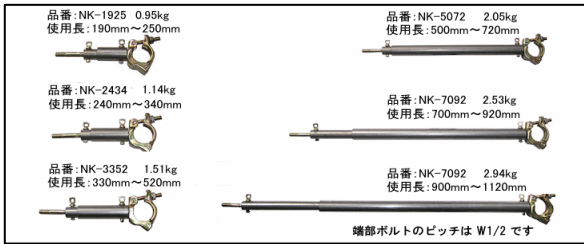


足場の倒壊防止措置

壁繋ぎ・控え等

壁つなぎは法令上設置が義務化されています。しかし建物に穴が開くため、敬遠されます。壁つなぎは建物内外への倒壊を防止し、敷地もとらない合理的な倒壊防止処置です。

① 建方時に速やかに各面に壁繋ぎを計画通り行い、圧縮材は極力避ける事。
また設置スパンを一側足場も含め、垂直方向は各階・水平方法は3.6m間隔で設け、足場最上層及び側端が本足場の場合には当該側端にも設ける事とする。

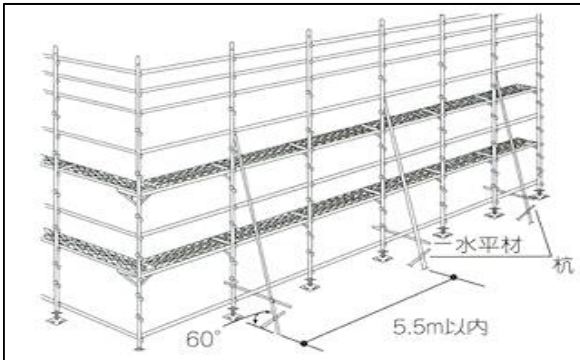


壁つなぎ



壁つなぎ取付け端部

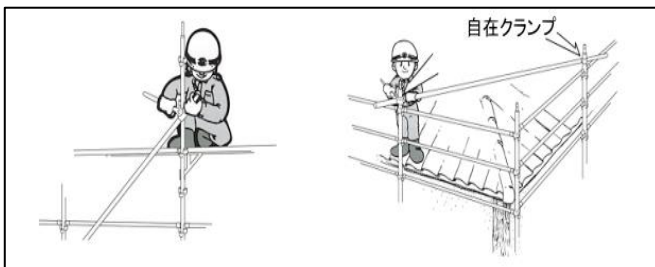
② 止むを得ず規定通りの壁繋ぎの間隔が取れない場合には、支柱毎に斜材の取付けを行い控えの杭にて固定し倒壊をしない様に行う事。



控え設置例



③ 足場最上層部の隅角部に火打ちを設け足場の補強を行う。火打ち取付け位置として足場両側面に対し45度程度とし、端部から1.8m程度離して取付ける。



火打ち設置例

安全作業をお願いします

みんなで防ごう倒壊事故

